



資料編

- 1 第7期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定経過
- 2 関係団体等ヒアリング
- 3 計画策定に係る調査の概要
- 4 福祉資源マップ
- 5 第7期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員名簿
- 6 当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会設置条例

1 第7期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定経過

(1) 委員会関連

年 月 日	内 容
平成 29 年 6 月 2 日	第 1 回 第 7 期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・委員長、副委員長の選出 ・第 7 期計画策定の考え方等について ・策定スケジュールについて
平成 29 年 9 月 4 日	第 2 回 第 7 期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・在宅介護実態調査、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について ・関係機関ヒアリングの結果について
平成 29 年 11 月 7 日	第 3 回 第 7 期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関ヒアリングの結果について ・基本方針、基本目標について ・第 7 期計画素案について
平成 29 年 12 月 27 日	第 4 回 第 7 期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・基本方針、基本目標について ・第 7 期計画素案について ・第 7 期計画期間におけるサービス見込み量及び保険料について
平成 30 年 2 月 21 日	第 5 回 第 7 期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント及び住民説明会の実施結果について ・第 7 期計画(最終案)について
平成 30 年 1 月 11 日～ 平成 30 年 2 月 9 日	パブリックコメントの実施
平成 30 年 1 月 26 日 平成 30 年 1 月 30 日	住民説明会の開催

(2) 調査関連

年 月 日	内 容
平成 28 年 8 月～9 月	高齢者の「もしもの時」に関する調査 ・有効回答 2,566 名(65 歳以上の在宅者 4,995 名)
平成 29 年 1 月 12 日～ 平成 29 年 7 月 31 日	在宅介護実態調査 ・有効回答:134 名(要介護(支援)認定更新対象者)
平成 29 年 6 月 21 日～ 平成 29 年 7 月 10 日	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 ・有効回答 154 名(要介護認定を受けていない方高齢者(120 名)、要支援 1・2(120 名)の 計 240 名)
平成 29 年 7 月 19 日	関係団体等ヒアリング ①グループワーク(1 回目) ・テーマ:「当別町の“今”を語ろう ～共生のまちづくりのシナリオづくり～」
平成 29 年 8 月 1 日	関係団体等ヒアリング ①グループワーク(2 回目) ・テーマ:「想いをカタチにしよう ～共生のまちづくりのシナリオづくり～」
平成 29 年 9 月 12 日～ 平成 29 年 9 月 29 日	関係団体ヒアリング ② ・高齢者に関する事業の状況について、事業実施上の課題について、今後の方向性や取り組みについて

2 関係団体等ヒアリング

(1) グループワーク

① 調査・分析の概要

平成 29 年 7 月 19 日、平成 29 年 8 月 1 日に行われた地域ケア会議に参加した関係団体等に対し、グループワークを実施しました。グループワークでは、まず「共生のまちづくり」における「重要度」・「満足度」に関する個人ワークを行い、その結果をもとに当別町の現状や課題、各専門職・機関の特徴について話し合いが行われました。

個人ワークでは大きく、①「くらしの利便性を高める取組みについて」、②「多様な就労への取組みについて」、③「子育て世代への支援」、④「連携による医療・福祉的取組み」、⑤「助け合いのコミュニティについて」の 5 つの内容について、1～5 段階で「重要度」と「満足度」について主観的に評価をしていただきました。分析は因子分析による似たような回答の傾向がある項目をグループ分けし、各因子の「重要度」と「満足度」の平均値を比較しました。

② 結果概要

対象者 66 人が回答した「重要度」をもとに因子分析を行い、似たような項目同士をグループ分けした結果、4 つの因子が抽出されました（主因子法・プロマックス回転）。

各因子の「重要度」と「満足度」の平均値を比較した結果、「第 2 因子（専門的な支援（医療・就労・災害）」が最も重要度と満足度差が大きい、つまり重要であるにも関わらず満足度が低い傾向があることが分かりました。

この個人ワークの結果をふまえ、グループワークを行った結果、特に看取りなど医療的なケアの必要性に関する意見が複数のグループから出されました。また、子育て支援や就労に関することなど、高齢・障害・子ども・生活困窮などの制度の枠にとらわれない、共生型社会の実現に向けた課題なども抽出されました。

○ 個人ワークの因子分析結果

第1因子(身近な人との助け合い・体制づくり)	重要度 (平均値)	満足度 (平均値)
5-②: 柔軟・多様な生活支援(専門家・ボランティア・近隣の方など)	4.09	3.12
5-①: すぐに相談できる体制(専門家・近所の方など)	4.11	2.98
5-④: 世代間交流(交流拠点・イベントなど)	3.75	3.17
4-④: 充実した体制作り(民生委員、福祉委員、地域包括支援センターなど)	4.06	3.34
5-③: ボランティアの活性化(登録制度・活動など)	3.97	3.26
4-③: 健康・予防への取組(健康づくり、健診、介護予防など)	3.98	3.11
5-⑥: 福祉教育の推進について	3.94	2.79
第1因子全体の平均値	3.99	3.11

第2因子(専門的な支援(医療・就労・災害))	重要度 (平均値)	満足度 (平均値)
4-②: 医療(かかりつけ医、訪問看護など)	4.25	2.55
4-①: 看取り(自宅、介護施設など)	4.24	2.41
2-①: シニア向け(生きがい就労、余暇活動など)	3.92	2.79
2-②: 母親向け(短時間労働、病児保育など)	3.89	2.60
2-③: 就労困難者(障がい者・生活困窮者)向け(農業、新規事業など)	3.98	2.58
5-⑤: 災害対応(避難困難者・近隣との連携など)	4.32	2.58
第2因子全体の平均値	4.10	2.59

第3因子(子育てへの支援)	重要度 (平均値)	満足度 (平均値)
3-①: 教育・保育面での支援(小・中学校、認定こども園、プレイハウス、ファミリーサポートなど)	4.05	2.88
3-②: 保健・医療での支援(健診、医療費助成、病児保育など)	4.05	2.86
3-③: 余暇面での取組み(遊びの場・公園など)	3.79	2.68
第3因子全体の平均値	3.96	2.81

第4因子(自宅での暮らしへの支援)	重要度 (平均値)	満足度 (平均値)
1-②: 雪対策について(除雪の担い手など)	4.47	2.59
1-③: 住まい対策について(自宅、アパート・マンション、公営住宅など)	3.88	3.00
1-①: 交通・移動について(買い物、通院、バスなど)	4.38	2.39
第4因子全体の平均値	4.24	2.66

(2) 個別ヒアリング

① 調査・分析の概要

各調査の結果及びグループワークの結果の整理とともに、関係団体に対し個別にヒアリング調査を行いました。調査期間は平成29年9月12日～平成29年9月29日とし、調査の内容は主に、①「介護が必要になった際の適切な情報提供や介入、災害時など緊急時のサポートの潜在的なニーズの掘り起こしのために必要だと思うこと」、②「在宅での暮らしの継続を支えるために必要だと思うこと」、③「外出機会の確保や外出手段の確保に必要だと思うこと」、④「地域での活動への参加を促すために必要だと思うこと、具体的な活動内容に関する要望」、⑤「各機関・団体の課題」について調査しました。

調査内容は許可を得た上で録音し、録音データをもとに逐語録を作成し、似たもの同士を集め分類し（KJ法的手法）、カテゴリーを作成しました。

② 結果概要

「看取りの支援・体制整備」、「認知症ケアの推進、介護をする家族への支援」、「情報提供や見守りの体制整備」、「外出する手段（外出支援）と機会の確保」、「利便性の向上」、「介護予防・健康維持、情報提供の推進」、「地域での活動の促進」、「災害時・緊急時のサポート体制の整備」の8つのカテゴリーが抽出されました。

特に、看取りも含めできるだけ住み慣れた当別町で暮らし続けることができるよう、医療的ケアの体制整備や住民に対する周知・教育の必要性に関する意見や、さらに幅広い世代への認知症ケア・地域活動などに関する情報提供や周知の必要性、外出手段や機会の確保に関する意見が多く聞かれました。特に、介護予防などは北海道医療大学とも連携・協働しながら進めていくことに関する意見も聞かれました。

さらに、アンケート調査等では見えてこなかった課題として、介護離職の防止をはじめ働き世代の介護者家族、若い前期高齢者への支援の必要性や、サービスや資源の地域間格差の問題、災害時の動き方や地域福祉支援台帳の活用実態の共有・周知を図る必要性について、多くの意見が聞かれました。

○ ヒアリング調査の分析結果

カテゴリー1： 看取りの支援・体制整備	
具体的な内容	看取りに必要なサービス・サポート(看取りに関わる医療的ケア、体制整備の必要性、医療との連携の必要性)、住民への看取りに関する教育・意識改革の必要性 看取りに関する各機関・団体の課題
カテゴリー2： 認知症ケアの推進	
具体的な内容	認知症カフェの現状と課題、介護者と共に歩む会の現状、認知症ケアパスの現状 認知症に関する情報提供・周知の必要性、認知症に関する教育・意識改革の必要性 認知症ケアに関わる医療的ケア、体制整備の必要性、認知症ケアに関する各機関の課題 認知症の人本人が活躍できる場・機会の提供、軽度認知症の人への介入 認知症サポーター・あったかサポーターの現状と課題
カテゴリー3： 介護をする家族への支援	
具体的な内容	介護離職の現状、老老介護の現状、介護離職を防ぐための支援・情報提供の必要性 在宅生活の継続に必要なサービス・サポート(小規模多機能・ショートステイ、定期巡回、訪問リハ、鍵の預かりサービス)、家族会の周知・参加の促しの必要性
カテゴリー4： 情報提供や見守りの体制整備	
具体的な内容	介護に関する情報提供・周知の現状、介護をする家族・学生など多世代への介護に関する情報提供・実習教育の必要性、住民ニーズの把握に関する課題 住民の情報開示への抵抗感に関する課題、複合的な問題を抱える家族に対する支援
カテゴリー5： 外出する手段(外出支援)と機会の確保、利便性の向上	
具体的な内容	移動手段の必要性(在宅生活継続、通院、地域活動への参加)、免許返納の問題の現状 福祉有償運送の課題、ふれあいバスの現状と課題、介護タクシーの現状、住民間送迎の課題 通所型サービス事業の課題、除雪に関する課題
カテゴリー6： 介護予防・健康維持、情報提供の推進	
具体的な内容	団塊世代の男性ボランティアグループ(ぺこちゃん)に関する情報提供・周知の現状 ふれ・スポ・どうべつに関する情報提供・周知の現状、二次予防事業の現状 大学との連携の現状、介護予防に関する情報提供・周知の必要性 介護予防に必要なサービス・サポート、介護予防の種類・内容の課題
カテゴリー7： 地域での活動の促進	
具体的な内容	ごちゃまぜサロンの現状、高齢者クラブの現状、サロンに関する情報提供・周知の必要性 有償ボランティアに関する情報提供・周知の必要性、地域活動に参加しない人へのアプローチの必要性、地域活動への参加を促す上での課題、地域活動の種類・内容の課題 地域活動の担い手の不足、運営上の課題、高齢者クラブの担い手不足・運営上の課題 地域活動を行う上での設備上の課題、地域活動に関する各機関・団体の課題
カテゴリー8： 災害時・緊急時のサポート体制の整備	
具体的な内容	住民への防災に関する教育・意識改革の必要性、災害時の各機関が考える役割・期待 災害時の動き方の検討の必要性、避難場所の周知の必要性、避難時のサポートの課題 地域福祉支援台帳の運用に関する課題、災害に関する地域特性、地域間格差の課題

3 計画策定に係る調査の概要

(1) 在宅介護実態調査(要介護認定を受けている方)

① 調査・分析の概要

要介護（支援）者の在宅生活の継続や、介護者の介護離職などを予防し有効な介護サービスの在り方を検討するため、「在宅介護実態調査」を実施しました。調査対象者は在宅の平成 29 年 2 月～7 月末に要介護認定更新および変更申請のあった方（要支援 1、2 および要介護 1～5）を対象とし、調査期間は平成 29 年 1 月 12 日～7 月 31 日としました。

分析は主に単純集計を行い、必要に応じてクロス集計を行いました。

② 結果概要

有効回答 134 名でした。回答者の基本属性として性別では男性 50 名、女性 84 名、平均年齢 81.9 歳でした。

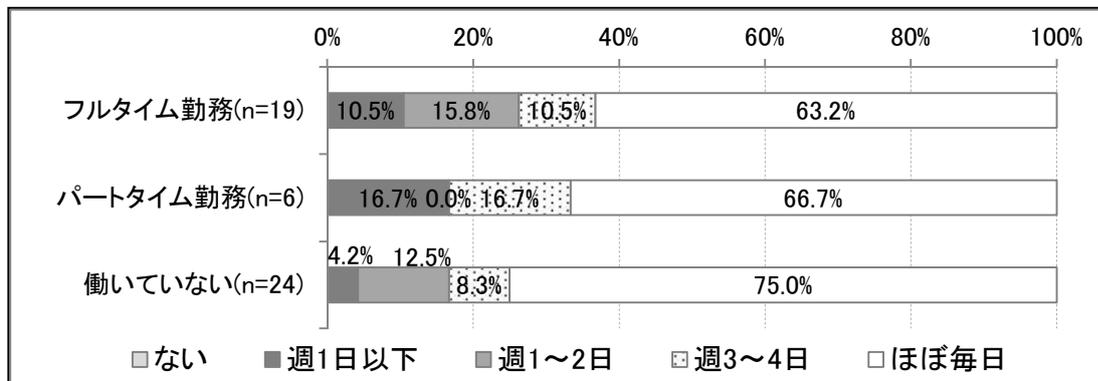
ご家族やご親族の方からの介護の実態については、「ほぼ毎日ある」が 54.5% を占める一方、「ない」は 20.9% を占めていました。

また「現時点での、施設等への入所・入居の検討状況」については「検討していない」が 84.3% を占めており、単身世帯の方はその他の世帯の方よりも「検討している」割合が高い傾向がみられました。

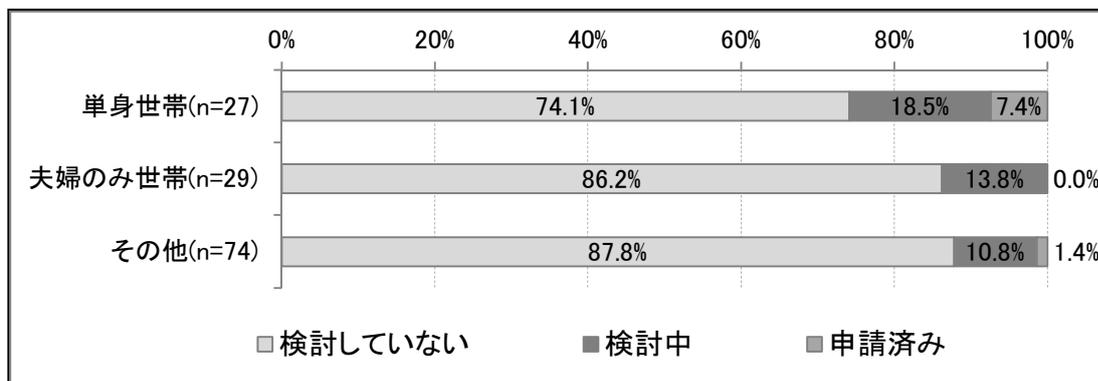
主な介護者の就労継続の可否に係る意識については、「問題なく、続けていける」が 44.7% を占めていました。

○ 分析結果の抜粋

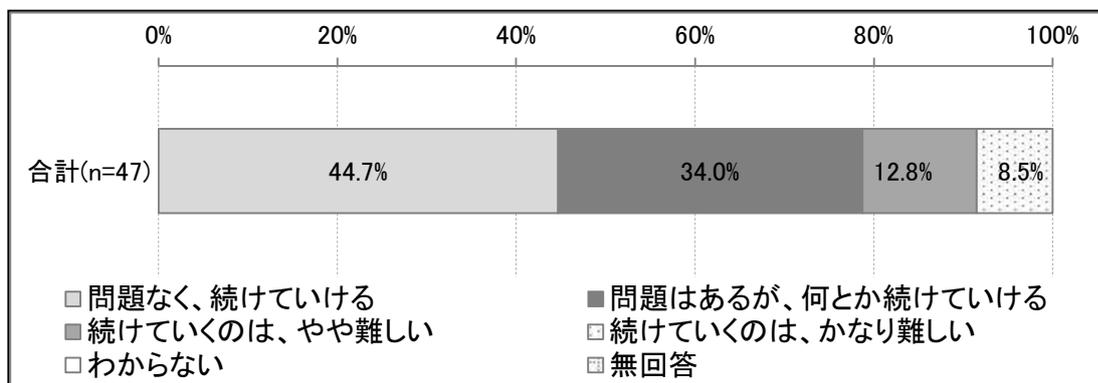
家族等による介護の頻度



世帯類型別・施設等検討の状況



主な介護者の就労継続の可否に係る意識



(2) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(要介護認定を受けていない方)

① 調査・分析の概要

要介護状態になる前の高齢者について、要介護状態になるリスクの発生状況や各種リスクに影響を与える日常生活の状況、社会参加の状況を把握し、地域診断に活用し地域の抱える課題を特定することを目的にアンケート調査を実施しました。調査対象者は非該当、もしくは要支援1、2の方、240名を対象とし、調査期間は平成29年6月21日～7月10日としました。

分析は主に単純集計を行い、必要に応じてクロス集計、相関分析を行いました。

② 結果概要

配布数は240名、そのうち有効回答は154名(有効回答率64.2%)でした。回答者の基本属性として性別では男性71名、女性83名、平均年齢78.4歳、要介護度は「要支援」が78名、「認定なし」が76名でした。

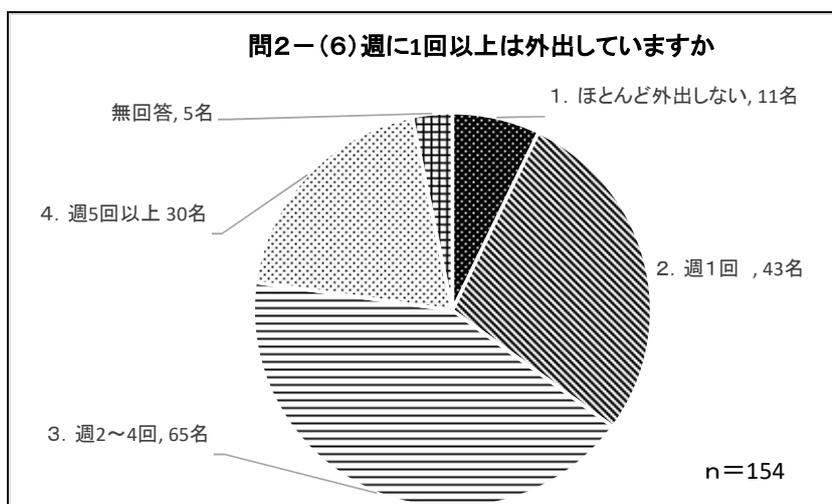
外出頻度については、「週5回以上」が30名(19.5%)の一方、「ほとんど外出しない」「週1回」が合わせて名54名(35.1%)でした。また、相関分析を行った結果、年齢が高いほど、外出頻度が少ない傾向がみられました($r=-30$ 、 $p<0.01$)。

健康状態については、「とてもよい」「まあよい」が合わせて97名(63.0%)であった一方、「よくない」「あまりよくない」も合わせて48名(31.2%)であり、今後支援が必要になる可能性が考えられました。

また、助け合いについて、全体的に日常的な心配事に関するたすけあいは、家族・親族以外の近隣や友人などとも行われていましたが、病気の看病や世話については、家族・親族によるたすけあいが中心に行われており、特に病気に対するサポートは公助・共助も含めた体制整備が必要だと考えられました。

○ 分析結果の抜粋

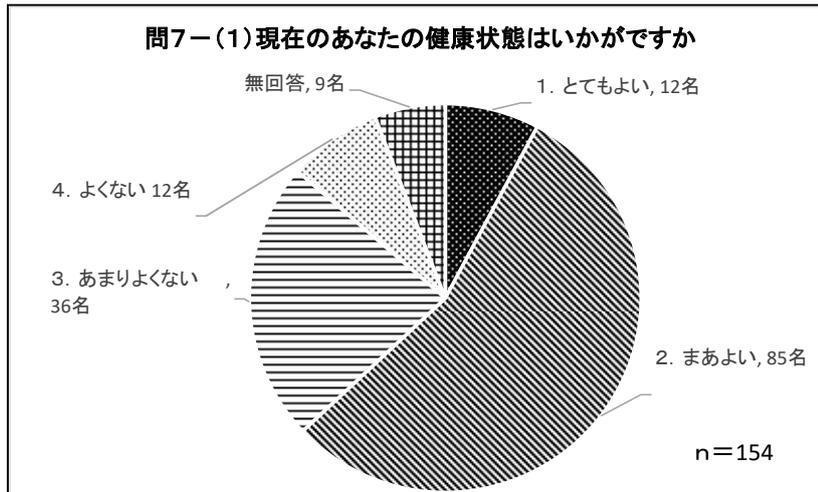
問2-(6)週に1回以上は外出していますか(外出頻度)



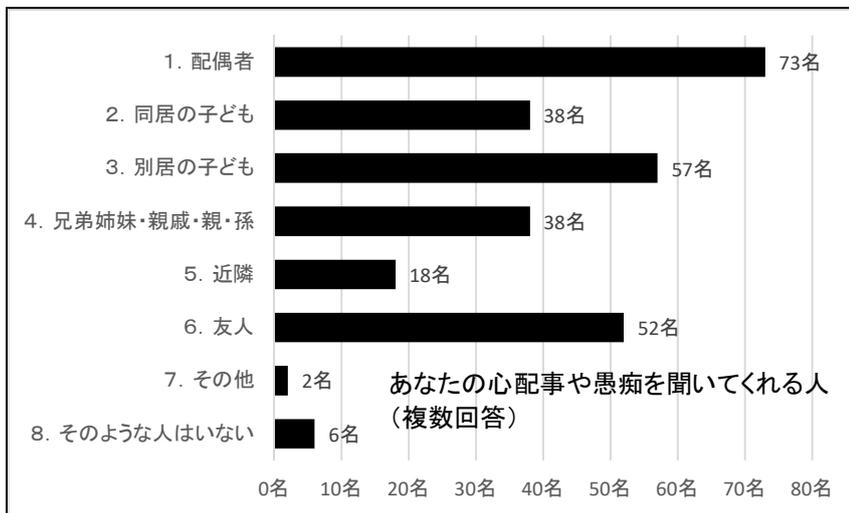
クロス表

		問2-(6)週に1回以上は外出していますか				合計
		1. ほとんど 外出しない	2. 週1回	3. 週2~ 4回	4. 週5回 以上	
年齢年代別	60代	0名 0.0%	6名 23.1%	12名 46.2%	8名 30.8%	26名 100.0%
	70代	5名 9.3%	12名 22.2%	25名 46.3%	12名 22.2%	54名 100.0%
年齢年代別	80代	4名 7.3%	19名 34.5%	24名 43.6%	8名 14.5%	55名 100.0%
	90代	2名 14.3%	6名 42.9%	4名 28.6%	2名 14.3%	14名 100.0%
合計	度数	11名	43名	65名	30名	149名
	年齢年代別の%	7.4%	28.9%	43.6%	20.1%	100.0%

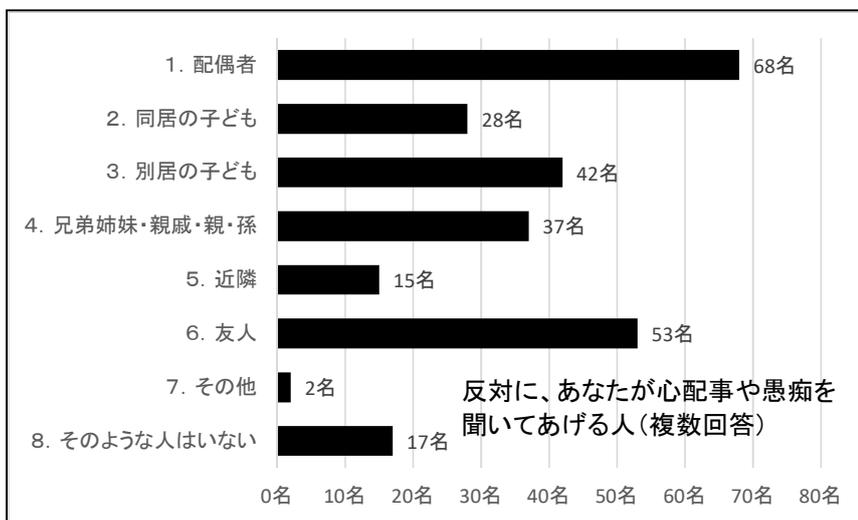
問7-(1)現在のあなたの健康状態はいかがですか(健康度)



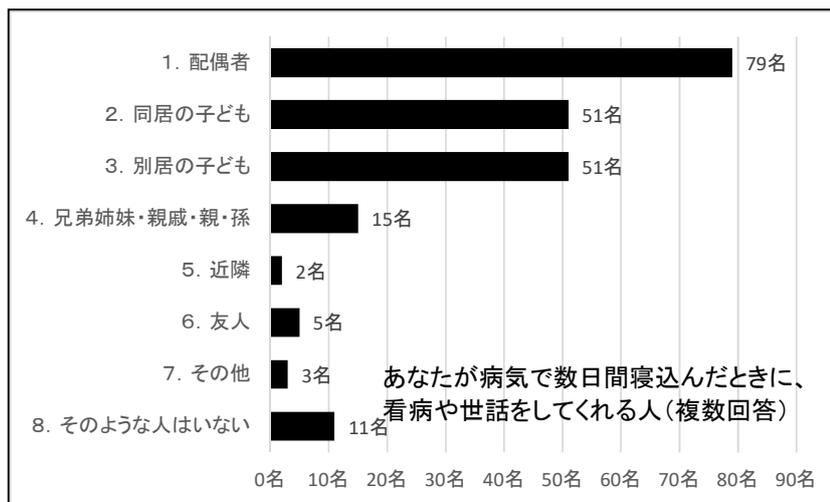
問6-(1)あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(複数回答)



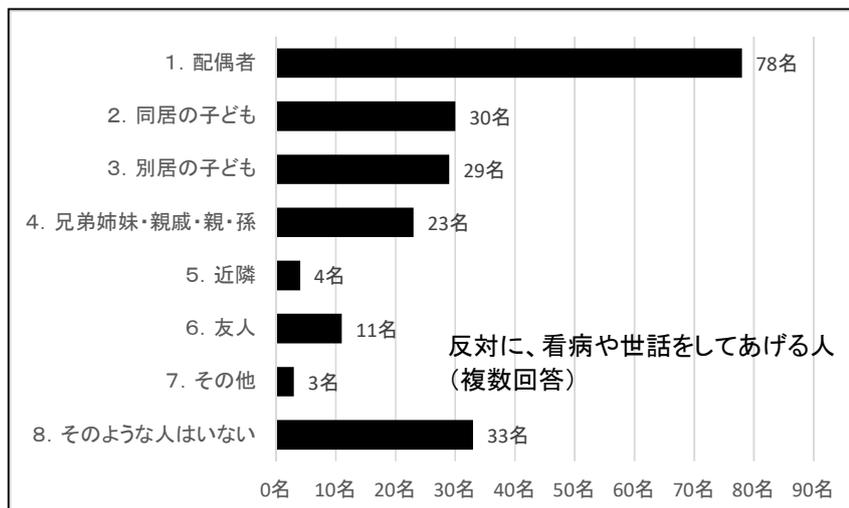
問6-(2)反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(複数回答)



問6－(3)あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(複数回答)



問6－(4)反対に、看病や世話をしてあげる人(複数回答)



(3) 高齢者の「もしもの時」に関する調査

① 調査・分析の概要

高齢者が何を心配し、どのようなことに不安を抱えているのか明らかにするため、北海道医療大学工藤禎子准教授と当別町が共同し、アンケート調査を実施しました。調査対象者は当別町に住む65歳以上の高齢者全員を対象とし、調査期間は平成28年8月23日～9月10日としました。分析は主に単純集計を行いました。

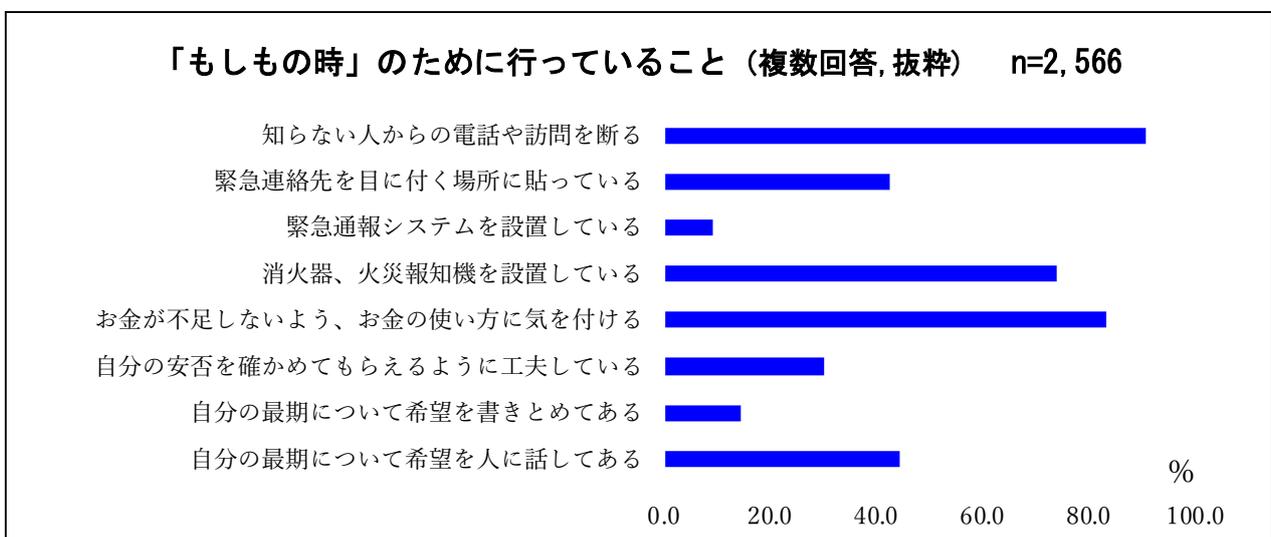
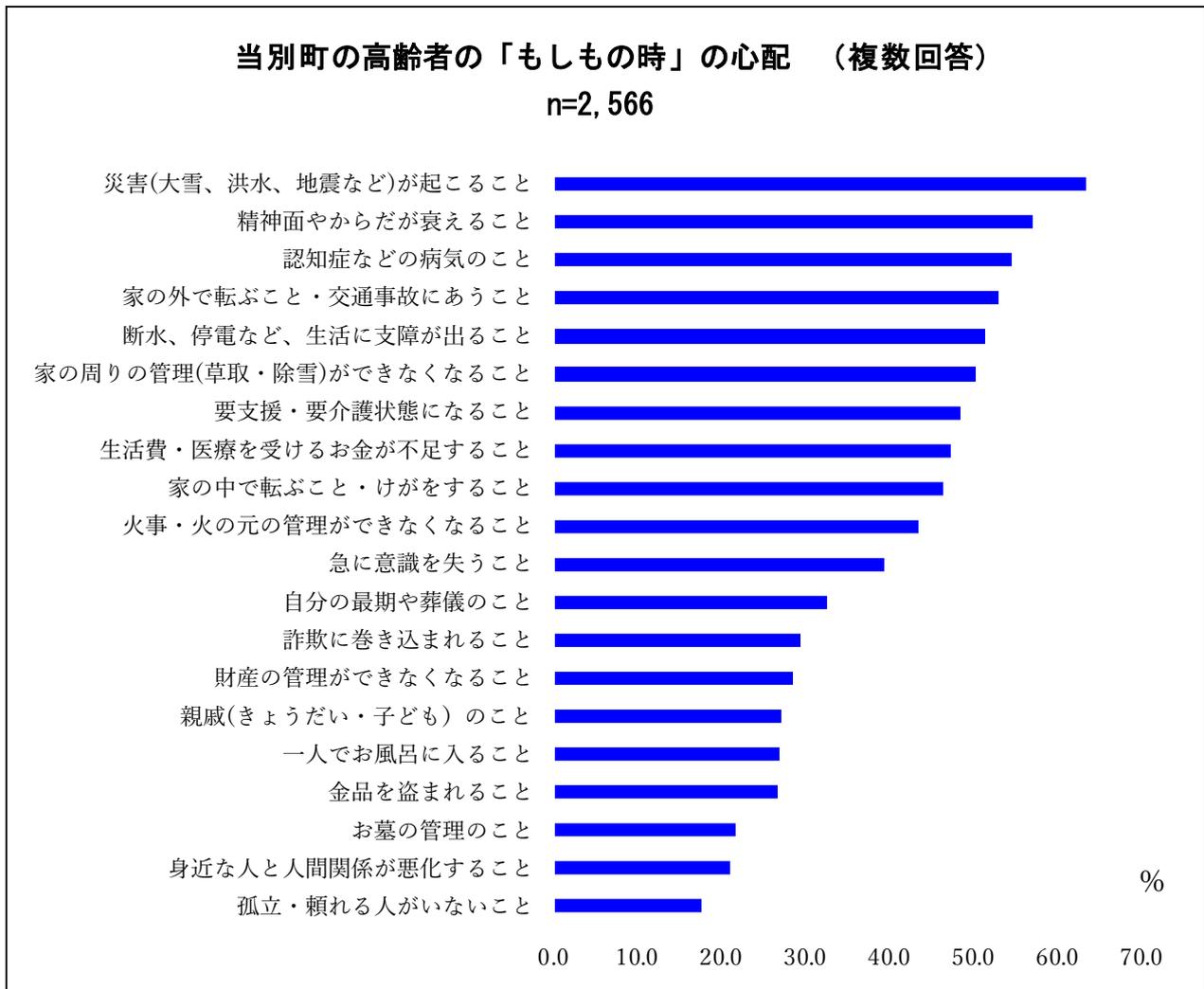
② 結果概要

配布数は4,995名、そのうち有効回答は2,566名(有効回答率51.3%)でした。回答者の基本属性として性別では男性1,146名、女性1,420名でした。

高齢者における「もしもの時」とは「災害」を挙げている人が最も多く、孤立や人間関係の心配は少ない傾向がみられました。また、「もしもの時」のため

に行っていることとしては、「知らない人からの電話や訪問を断る」「施錠」などの防犯対策が中心で、急に倒れた時などを想定している人は少ない傾向がみられました。

○ 分析結果の抜粋



4 福祉資源マップ

(1) 高齢者福祉資源

サービス種別	施設等名称	所在地	地図	
			番号	記号
高齢者福祉センター	当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」	西町32番地2	1	○
地域包括支援センター・居宅介護予防支援事業所	当別町地域包括支援センター	西町32番地2 当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」内	1	○
居宅介護支援事業所	勤医協当別居宅介護支援事業所	末広118番地52	5	○
	当別ケアプラン相談センター	錦町55番地9 JRドリーミー当別	9	○
	ケアプランセンター結	太美町1488番地274	12	○
	居宅介護支援事業所ゆかり	弥生2番地1	16	○
	あったかプランとうべつ	弥生52番地	17	○
訪問介護・介護予防訪問介護（ホームヘルプサービス）	当別町ホームヘルプステーション	西町32番地2 当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」内	1	○□
	勤医協ヘルプステーションとうべつ	末広118番地52	5	○□
	ヘルプステーションりっか	幸町51番地31	6	○□
	訪問介護ステーション歩っと	西町36番地8	7	○□
訪問看護・介護予防訪問看護	勤医協訪問看護ステーションとうべつ	末広118番地52	5	○□
	当別訪問看護ステーション	錦町55番地9 JRドリーミー当別	9	○
訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーション	愛里苑訪問リハビリテーション	ヒトエ2200番地1	8	○
通所介護・介護予防通所介護（デイサービス）	当別町デイサービスセンター	西町32番地2 当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」内	1	○
	勤医協当別デイサービスふきのとう	末広118番地52	5	○
	デイサービスセンターふくろうの森	幸町51番地31	6	○
	ひまわり健康倶楽部	春日町97番地1	10	○
	デイサービスセンター結	太美町1488番地274	12	○
	ふとみデイサービス	太美町2343番地39	13	○
通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション（デイケア）	愛里苑通所リハビリテーション	ヒトエ2200番地1	8	○
小規模多機能居宅介護施設	小規模多機能型居宅介護さくら	弥生2番地1	16	○
短期入所生活介護	特別養護老人ホーム長寿の郷	太美町1488番地18	11	○
	特別養護老人ホーム当別長寿園	太美町1488番地274	12	○
短期入所療養介護	介護老人保健施設愛里苑	ヒトエ2200番地1	8	○
認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護	グループホームすぎの子の郷	春日町97番地1	10	○
	公楽苑ほほえみⅠ・Ⅱ	太美南818番地62	14	○
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	特別養護老人ホーム長寿の郷	太美町1488番地18	11	○
	特別養護老人ホーム当別長寿園	太美町1488番地274	12	○
養護老人ホーム	養護老人ホーム長寿園	太美町1488番地274	12	○
介護老人保健施設（老人保健施設）	介護老人保健施設愛里苑	ヒトエ2200番地1	8	○
特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム）	介護付有料老人ホーム公楽苑	太美町2343番地39	13	○
サービス付き高齢者向け住宅	とうべつりっか	幸町51番地31	6	○
	パークアベニューとうべつ	西町36番地8	7	○
高齢者雇用就業支援	当別町シルバー人材センター	末広2番地1	15	○

(2) 障がい者・障がい児福祉資源

サービス種別	施設等名称	所在地	地図	
			番号	記号
相談支援事業	指定特定相談支援事業所 「サポートネットワークセンター」	末広2番地1	15	□
	当別町障がい者総合相談支援センター 「nanakamado (ななかまど)」	弥生52番地	17	□
	当別町子ども発達支援センター	西町32番地1	20	□
	勤医協ヘルパーステーション とうべつ	末広118番地52	5	○□
居宅介護	当別町ホームヘルパー ステーション	西町32番地2 当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」内	1	○□
	ヘルパーステーション 「aiisai (あじさい)」	弥生1091番地6	2	□
	勤医協ヘルパーステーション とうべつ	末広118番地52	5	○□
	ヘルパーステーションりっか	幸町51番地31	6	○□
	訪問介護ステーション「歩っと」	西町36番地8	7	○□
同行援護	当別町ホームヘルパー ステーション	西町32番地2 当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」内	1	○□
	勤医協ヘルパーステーション とうべつ	末広118番地52	5	○□
重度訪問介護	ヘルパーステーション 「aiisai (あじさい)」	弥生1091番地6	2	□
	勤医協ヘルパーステーション とうべつ	末広118番地52	5	○□
	訪問介護ステーション歩っと	西町36番地8	7	○□
	ヘルパーステーションりっか	幸町51番地31	6	○□
生活介護	当別・高岡 アクティビティーセンター	高岡1813番地1	18	□
	生活介護事業所「にょきにょき」	弁華別429番地	22	□
短期入所 (ショートステイ)	短期入所施設anemone (あねもね)	春日町94番地22	19	□
共同生活援助 (グループホーム)	外部サービス利用型指定共同生活援助 事業所「グループホームつくし」	弥生51番地53 第一オオツマンション8号	23	□
	清瀬マンション	春日町94番地22	19	□
	グループホーム「ゆうゆうのいえ」	太美町1488番地280	21	□
就労継続支援 (A型)	Farm Agricola (アグリコラ)	弥生52-11	25	□
就労継続支援 (B型)	当別町共生型地域オープンサロン 「ガーデン (Garden)」	弥生51番地38	3	☆□
	当別町共生型コミュニティー農園 「ぺこぺこのはたけ」	太美町1481番地6	4	☆□
	渋谷ダブルツールカフェ 北海道医療大学店	金沢1757番地 北海道医療大学中央講義棟10F	40	□
移動支援事業	当別町ホームヘルパー ステーション	西町32番地2 当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」内	1	○□
	ヘルパーステーション 「aiisai (あじさい)」	弥生1091番地6	2	□
地域活動支援センター 事業	当別町地域活動支援センター 「つくしの郷」	末広2番地1	15	□
日中一時支援事業	放課後等デイサービスセンター 「amaririsu (あまりりす)」	六軒町70番地18	24	□
障がい児通所施設	当別町子ども発達支援センター	西町32番地1	20	□
放課後等デイサービス	放課後等デイサービスセンター 「amaririsu (あまりりす)」	六軒町70番地18	24	□

(3) 共生型事業・地域福祉資源

サービス種別	施設等名称	所在地	地図	
			番号	記号
総合保健福祉センター	当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」	西町32番地2	1	☆
共生型事業	当別町共生型地域福祉ターミナル「みんなのうた」	弥生1091番地6	2	☆
	当別町共生型地域オープンサロン「ガーデン (Garden)」	弥生51番地38	3	☆
	当別町共生型コミュニティー農園「ぺこぺこのはだけ」	太美町1481番地6	4	☆
ボランティアセンター	当別町ボランティアセンター	弥生1091番地6	2	☆
パーソナルアシスタントサービス	当別町共生型地域福祉ターミナル	弥生1091番地6	2	☆
社会福祉（地域福祉）関連事業	当別町社会福祉協議会	西町32番地2 当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」内	1	☆
生活困窮者自立相談支援	生活就労サポートセンターいしかり	弥生52-11	25	☆
生活困窮世帯等の子どもの学習支援施設等	「ゆうゆう塾」ガーデン (Garden)	弥生51番地38	3	☆
	「ゆうゆう塾」ぺこぺこのはだけ	太美町1481番地6	4	☆

(4) 保健・医療資源

サービス種別	施設等名称	所在地	地図	
			番号	記号
保健センター	当別町総合保健福祉センター「ゆとろ」	西町32番地2	1	+
病院	堀江病院	樺戸町106番地21	41	+
診療所	石狩当別眼科	弥生52番地23	26	+
	おくやま内科・外科クリニック	幸町51番地32	27	+
	勤医協当別診療所	末広118番地52	28	+
	スウェーデン通り内科循環器科クリニック	太美町1488番地348	29	+
	田園通りさわざき医院	北栄町17番地13	30	+
	とうべつ整形外科	六軒町72番地4	31	+
	とうべつ内科クリニック	西町21番地9	32	+
	ふとみクリニック	太美町2343番地101	33	+
歯科診療所	扇谷歯科医院	錦町53番地57 北石狩農業協同組合内	34	+
	くろさわ歯科クリニック	北栄町39番地4	35	+
	当別駅前クリニック田西歯科	園生711番地	36	+
	当別ファミリー歯科	白樺町5番地24	37	+
	ハート歯科	太美町1473番地12	38	+
	ふとみ歯科クリニック	太美町1695番地188	39	+
	北海道医療大学歯科クリニック	金沢1757番地	40	+

5 第7期当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員名簿

	氏 名	所 属
委員長	工藤 禎子	北海道医療大学 看護福祉学部看護学科
副委員長	泉亭 俊徳	当別町社会福祉協議会
委員	加我 雅子	勤医協訪問看護ステーション とうべつ
委員	秋田 真秀	ふとみクリニック
委員	川村 章	当別町民生児童委員協議会
委員	大口 弘美	当別町ボランティア連絡協議会
委員	盛 健作	当別長生会
委員	太田口 亮太	当別町ケアマネジャー連絡協議会
委員	五十嵐 潔	当別町介護者と共に歩む会
委員	岡田 正幸	当別町高齢者クラブ連合会

6 当別町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会設置条例

(設置)

第1条 老人福祉法（昭和38年法律第133号）第20条の8第1項に規定する高齢者保健福祉計画及び介護保険法（平成9年法律第123号）第117条第1項に規定する介護保険事業計画を策定するため、当別町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について調査及び審議を行う。

- (1) 当別町高齢者保健福祉計画の策定に関すること。
- (2) 当別町介護保険事業計画の策定に関すること。
- (3) その他町長が必要と認めること。

(組織)

第3条 委員会は、委員10名以内をもって組織する。

- 2 委員会の委員（以下「委員」という。）は、学識経験を有する者その他町長が適当と認める者のうちから、町長が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から当別町高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定が終了した日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、議長となる。

- 2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。
- 3 会議の議事は、会議に出席した委員の過半数で可決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 会議は、公開とする。ただし、当別町個人情報保護条例（平成14年当別町条例第9号）第2条第1号に規定する個人情報を取り扱う場合等特別な事情がある場合は、委員長が、委員会に諮って非公開とすることができる。

(意見等の聴取)

第7条 委員長は、所掌事務を遂行するため必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又はこれらの者に対し資料の提出を求めることができる。

(守秘義務)

第8条 委員その他会議に出席した者は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、福祉部介護課において処理する。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この条例は、平成29年4月1日から施行する。

第7期当別町高齢者保健福祉計画
当別町介護保険事業計画

平成30年3月発行

編集 当別町福祉部介護課
〒061-0234 石狩郡当別町西町32番地2
当別町総合保健福祉センター内

電話 0133-23-3029

FAX 0133-25-5018